

# 日本ユニシスグループ

## 2017年度 サステナビリティ報告

# 環境

当社グループは、人と環境にやさしい社会の実現のため、環境負荷の低減に貢献する商品や社会インフラを構築するサービスを提供する事業活動を行っています。

- 日本ユニシスグループの環境方針
- 環境マネジメント
- 環境データ

# 日本ユニシスグループの環境方針

日本ユニシスグループは、事業を通じて資源とエネルギーの有効活用、気候変動の対応、生物多様性に配慮した環境保全活動を推進するため、「日本ユニシスグループ環境方針」を2018年度に改訂しました。

## 日本ユニシスグループ環境方針

### 《基本理念》

日本ユニシスグループは顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値を提供し、社会課題を解決する企業として、環境に配慮した事業活動を継続的に推進します。

### 《基本方針》

私たちは業種・業態の垣根を超え、さまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムを創る中核となり、持続可能な開発に貢献し、環境保全に努めます。

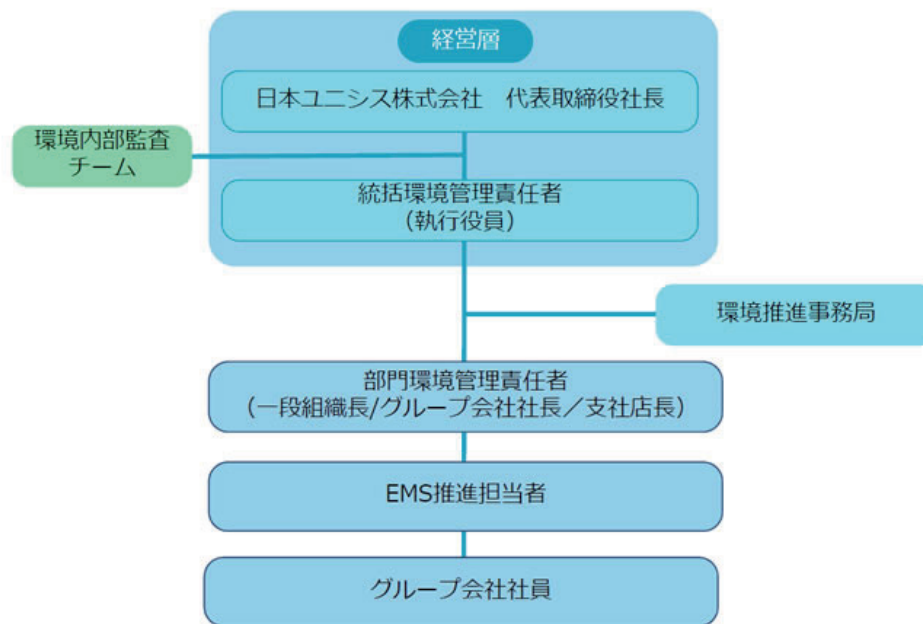
1. 環境マネジメントシステムを構築し環境保全活動の継続的改善に取り組みます。
2. 環境保全に関連する法規制等、並びに日本ユニシスグループが同意するその他の要求事項を順守します。
3. 事業活動に基づき、資源とエネルギーの有効活用、気候変動の対応、生物多様性に配慮した環境保全活動を推進します。
  - (1) 事業活動においてグリーン調達を推進します。
  - (2) 技術的、経済的に可能な範囲で、お客様の事業活動における生産性向上及び省エネルギーに貢献する商品・サービスの提供に努めます。
  - (3) オフィス活動において、電力使用量の低減、ペーパーレス化の促進、廃棄物の分別、リサイクルに取り組みます。
4. 自然エネルギーによる発電の普及に寄与し、環境負荷低減に貢献します。
5. 環境保全の重要性を認識させることを目的として、社員に対して啓発活動を積極的に行います。
6. この基本方針は組織で働く、または組織のために働く全ての人に周知徹底し、一般に公開します。

日本ユニシス株式会社  
代表取締役社長  
平岡 昭良

# 環境マネジメント

## 環境活動推進体制

「日本ユニシスグループ環境方針」に基づき環境活動推進体制を構築し、環境保全活動を推進しています。



## 環境活動

### 環境に配慮した取組み

資源とエネルギーを効率良く使用するため、部門毎に目標を設定し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

- ・事業所面積あたりのエネルギー使用量を前年度比で1%以上削減
- ・紙の使用量、廃棄物排出量の前年度比削減
- ・リサイクル率の前年度比改善
- ・人や物の移動量削減、オフィススペース削減

また、製造に水をほとんど使わず、半永久的にリサイクルできる、石灰石を主原料とした新素材の名刺を採用し、水資源の保全に取り組んでいます。

### 教育

日本ユニシスグループ全社にeラーニングによる環境活動教育を定期的実施しています。

## 法令順守

事業活動に係る適用環境法令等の見直しと順守状況の確認を定期的に行っています。  
2017年度は法令等の違反はありませんでした。

### 【適用法令一覧】

- ・省エネ法
- ・温対法
- ・廃棄物処理法
- ・PCB廃棄物特別措置法
- ・フロン排出抑制法
- ・家電リサイクル法
- ・消防法
- ・大気汚染防止法
- ・水質汚濁防止法
- ・浄化槽法
- ・温暖化対策に関する条例

## 内部監査

日本ユニシスグループ環境マネジメントシステムの運用状況、有効性/妥当性の確認として定期的に環境内部監査を実施し、統括環境管理責任者に結果を報告しています。2017年度の環境内部監査の結果、不適合は0件でした。

## 環境関連ソリューション一覧

### エネルギーソリューション

次世代のエネルギーソリューションで持続可能な社会の実現に貢献します。

- ・詳しくはこちら > <http://www.unisys.co.jp/solution/lob/energy/>

### 電気自動車 (EV) 充電インフラシステムサービス【smart oasis®】

地球温暖化防止につながるEVの普及促進に向け、必要となる充電インフラの整備に貢献します。

- ・詳しくはこちら > <http://smartoasis.unisys.co.jp/>

### 災害監視カメラサービス【サイカメラZERO®】

気候変動の影響により、自然災害が増加しています。

災害監視カメラサービスの提供により、集中豪雨による河川氾濫や道路冠水等の自然災害に際し、安全ですばやい実況監視を実現しています。

- ・詳しくはこちら > [http://www.unisys.co.jp/solution/biz/sai\\_camera\\_zero/](http://www.unisys.co.jp/solution/biz/sai_camera_zero/)

## クロノロジー型 危機管理情報共有システム 災害ネット

気候変動の影響により、自然災害が増加しています。

災害発生時、対応に追われる現場からの断片的な情報が大量に入ってくる災害対策本部において、入力者の負荷軽減、効率改善に貢献する防災システムです。

- [詳しくはこちら >](https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/) <https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/>

## クラウドサービス【U-Cloud®IaaS】

サーバー集約、エネルギー効率の良いデータセンター利用などにより、電力消費量の削減に貢献します。

- [詳しくはこちら >](http://www.uniadex.co.jp/service/cloud/u-cloud_iaas.html) [http://www.uniadex.co.jp/service/cloud/u-cloud\\_iaas.html](http://www.uniadex.co.jp/service/cloud/u-cloud_iaas.html)

## 含有化学物質管理システム【グリーン調達マイスター】

お客様の環境負荷物質低減、有害物質リスク低減をサポートします。

- [詳しくはこちら >](http://www.excel.co.jp/green/index.shtml) <http://www.excel.co.jp/green/index.shtml>

## 使用済情報処理機器の回収・再資源化サービス

法人（事業系）からの使用済情報処理機器を対象にした回収・再資源化を提供します。

- [事業系機器回収・再資源化 >](https://www.unisys.co.jp/csr/eco/index_04/recycle.html) [https://www.unisys.co.jp/csr/eco/index\\_04/recycle.html](https://www.unisys.co.jp/csr/eco/index_04/recycle.html)

※サイカメラZERO、smart oasis、U-Cloudは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

## 環境に配慮したデータセンターの活用

当社グループは、地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したデータセンターの活用をすすめています。

当社グループが郊外型データセンターとして活用している小浜データセンター（※1）（福井県小浜市）では、空調技術「壁吹出し方式空調システム」を採用しています。この方式は、空調機械室間仕切壁を介して直接サーバールーム内に冷気を供給するため、従来の床吹出し方式に比べ空調システム系の大幅な電力低減が可能となります。

また、冷気と暖気を混ぜない完全な循環型にすることや整流機構を設けることで22℃の給気でも十分にIT機器を冷却することができます。

さらに寒冷地に立地している利点を活かした外気冷房やフリークーリング（※2）の併用で、想定電力の100%使用時にはPUE（※3）=1.2台を実現できる環境配慮型省エネデータセンターとなっています。

※1 株式会社関電エネルギーソリューションが、受変電設備、空調設備などを建設・所有し、施設の維持運営管理を実施

※2 外気を利用して冷水をつくり、冷房に使用する仕組み

※3 Power Usage Effectiveness：データセンターのエネルギー効率を示す指標。データセンター全体の消費電力をデータセンター内のIT機器の消費電力で割った値。1に近いほど効率が高い

- [日本ユニシスグループのアウトソーシングセンター >](https://www.unisys.co.jp/solution/tec/outsourcing/dc_summary.html)  
[https://www.unisys.co.jp/solution/tec/outsourcing/dc\\_summary.html](https://www.unisys.co.jp/solution/tec/outsourcing/dc_summary.html)

## グリーン調達取り組み

当社グループでは、『グリーン調達ガイドライン』に従って、環境保全を推進しているお取引先様からの環境負荷の少ない製品・サービスの調達を推進しています。2008年度から『グリーン調達ガイドライン』に従った環境保全に関するアンケート調査を定期的に行っており、お取引先様との連携により環境負荷の少ない製品・サービスなどの調達を推進しています。

## ISO14001認証の取得

- 認証機関  
ビューローベリタスジャパン株式会社
- 初回認証日  
2003年4月9日
- 認証日  
2018年4月3日
- 認証番号  
4127888
- 認証範囲  
日本ユニシス株式会社  
ユニアデックス株式会社  
日本ユニシス・エグゼリューションズ株式会社  
株式会社トレードビジョン  
株式会社国際システム



ISO14001認証書 (COPY版)

## 環境データ

## 環境データ

日本ユニシスグループは効率的な資源とエネルギーの使用を推進し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

## (1) エネルギー・紙の使用量

## 日本ユニシスグループ

## 【事業所面積あたりのエネルギー使用状況】

事業所面積あたりのエネルギー使用量とCO<sub>2</sub>排出量は、概ね減少傾向にあります。

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
エネルギー使用量 (kl)	11,120	10,521	10,049	9,411	7,927
エネルギー使用原単位 (kl/m <sup>2</sup> )	計測値なし	0.0826	0.0797	0.0681	0.0687
前年度比改善率			3.5%	14.6%	-0.9%
CO <sub>2</sub> 排出量 (t)	18,855	21,804	19,792	18,464	15,100
CO <sub>2</sub> 排出原単位 (t/m <sup>2</sup> )	計測値なし	0.1711	0.1570	0.1336	0.1308
前年度比改善率			8.3%	14.9%	2.1%

## 【コピー用紙の使用量】

紙使用量は、2014年度以降、継続して減少しています。

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
紙使用量 (万枚)	2,420	2,775	2,709	2,368	1,915

## 日本ユニシス

## 【事業所面積あたりのエネルギー使用状況】

事業所面積あたりのエネルギー使用量とCO<sub>2</sub>排出量は、2015年度以降、減少傾向にあります。

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
エネルギー使用原単位 (kl/m <sup>2</sup> )	0.0938	0.0899	0.0836	0.0751	0.0730
前年度比改善率		4.3%	7.0%	10.1%	2.7%
CO <sub>2</sub> 排出原単位 (t/m <sup>2</sup> )	0.1595	0.1940	0.1787	0.1598	0.1467
前年度比改善率		-21.6%	7.9%	10.6%	8.2%

## (2) 廃棄物量・リサイクル率

日本ユニシスグループ(集計対象 日本ユニシスグループ東京地区)

廃棄物総発生量は、閉鎖事務所からの廃棄物等による増減がありますが、2017年度は減少しました。

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
廃棄物総発生量 (t)	512	628	574	603	580
リサイクル率	82.24%	70.76%	73.27%	58.87%	68.84%

## (3) 化学物質の適正管理

有害なおそれのある化学物質の排出・移動はありません。

## (4) 環境保全コスト

保全コスト(単位 千円)		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
事業エリア内コスト	公害防止等	1,600	1,700	1,700	1,700	1,606
上・下流コスト	グリーン購入に伴い発生した差額、容器包装等の低環境負荷対策、製品・商品等の回収、リサイクル、再商品化、適正処理等	0	0	0	0	0
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備、運用、従業員への環境教育等	37,340	39,360	36,120	37,640	39,742
研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究開発、製品等の製造段階における環境負荷抑制の研究開発等	0	0	0	0	0
社会活動コスト	環境保全を行う団体等に対する寄付、支援等	4,000	4,000	4,000	4,000	350
環境損傷対応コスト	自然修復、環境保全に関する損害賠償、環境損傷に対応する引当金繰入額及び保険料等	0	0	0	0	0
合計		42,940	45,060	41,820	43,340	41,699



## 集計範囲

### 2017年度：

日本ユニシス(株)、日本ユニシス・エクセリューションズ(株)、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)、(株)エイファス、チャンネルペイメントサービス(株)、チャンネルベンチャーズ(株)、チャンネルグローブ(株)、ユニアデックス(株)、USOLベトナム(有)、(株)国際システム、(株)トレードビジョン、日本ユニシス健康保険組合、日本ユニシス企業年金基金

### 2016年度：

日本ユニシス(株)、日本ユニシス・エクセリューションズ(株)、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)、(株)エイファス、ユニアデックス(株)、(株)国際システム、(株)トレードビジョン、日本ユニシス・ビジネス(株)、日本ユニシス健康保険組合、日本ユニシス企業年金基金

### 2015年度：

日本ユニシス(株)、日本ユニシス・エクセリューションズ(株)、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)、(株)エイファス、ユニアデックス(株)、(株)国際システム、(株)エイタス、(株)トレードビジョン、日本ユニシス・ビジネス(株)、日本ユニシス健康保険組合、日本ユニシス企業年金基金

### 2013年度～2014年度：

日本ユニシス(株)、USOL北海道(株)、USOL東北(株)、USOL東京(株)、USOL中部(株)、USOL関西(株)、USOL中国(株)、USOL九州(株)、日本ユニシス・エクセリューションズ(株)ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)、(株)エイファス、ユニアデックス(株)、(株)国際システム、(株)エイタス、(株)トレードビジョン、日本ユニシス・ビジネス(株)、日本ユニシス・アカウンティング(株)、日本ユニシス健康保険組合、日本ユニシス企業年金基金